

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
16	東京純心大学	在宅保育論	小泉 左江子 現代文化学部 教授	2	後期	水	15	14:40～16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

- 1 家庭訪問保育の特徴、有効性、社会的役割について説明できる。
- 2 家庭訪問保育の基礎となる保育マインドやカウンセリングマインドの理論を理解し、実践できる。
- 3 さまざまな家庭訪問保育の仕事の内容と実際について理解し、留意点に配慮して実践できる。
- 4 制度上の家庭訪問保育(居宅訪問型保育)と一般型家庭訪問保育の違いが説明できる。

【授業の概要】

この科目は、ディプロマポリシー「保育・教育に関する豊かな専門的知識と技能を習得」するための講義科目である。授業では、子どもの家庭を訪問して個別保育を行なう家庭訪問保育の理論と実際について、DVD 教材を活用して実践的に学ぶ。家庭訪問保育には、「子ども子育て新制度」において制度上位置づけられた居宅訪問型保育と、従来からベビーシッターと呼ばれてきた民間事業者による「一般型家庭訪問保育」があり、この授業ではその両方について学ぶ。単位取得者は、公益財団法人全国保育サービス協会「認定ベビーシッター」の資格が取得できる。

【授業内容】

1. ガイダンス・授業の目的・目標・評価・家庭訪問保育とは
2. 家庭訪問保育の基礎①・保育マインド・乳幼児の発達
3. 家庭訪問保育の基礎②・乳幼児の栄養と食事、アレルギー、食事のお世話について
4. 家庭訪問保育の基礎③・乳幼児の健康管理
5. 家庭訪問保育の基礎④:安全管理と事故予防(心肺蘇生法を含む)
6. 居宅訪問型保育の実際①:家庭訪問保育の保育内容と配慮事項 環境整備
7. 居宅訪問型保育の実際②:保護者との対応・事例を通して考える
8. 居宅訪問型保育の実際③:家庭訪問保育者の基本姿勢 職業倫理とマナー
9. さまざまな一般型家庭訪問保育(ベビーシッター)①産後ケア
10. さまざまな一般型家庭訪問保育(ベビーシッター)②病児病後児保育
11. さまざまな一般型家庭訪問保育(ベビーシッター)③障害児の保育
12. さまざまな一般型家庭訪問保育(ベビーシッター)④送迎・学童・多胎児・外国の子どもの保育
13. 安全管理とリスクマネジメント:緊急時の対応 ベビーシッターと法律
14. 家庭訪問保育における保育技術(遊び・お世話)
15. まとめ 再度家庭訪問保育の DVD を視聴し、仕事の内容と留意点を確認する

【成績評価方法】

課題レポート25%、期末試験75%で評価する。

【教科書】

「家庭訪問保育の理論と実際」 公益財団法人 全国保育サービス協会編 中央法規

【参考書、教材等】

使用しない

※ この授業は、9/22(水)が初回です。